



口腔保湿剤の成分って何？

口腔内の乾燥を緩和するためによく利用される口腔保湿剤ですが、口腔乾燥が進行した患者様のケアへの使用は大変有用です。

保湿剤は、液状のリキッドタイプと粘性を持ったジェルタイプに分類されます。当院では主に、誤嚥リスクが低く、保湿維持効果がより高いジェルタイプを口腔粘膜に塗布して使用しています。製品によりさまざまですが、基本的に保湿成分と水、そして補助成分から構成されています。

保湿成分

一般に化粧品やシャンプーにも保湿成分として使用されているグリセリン、ヒアルロン酸、プロピレングリコールなどが配合されています。これらの成分は粘性があり使用されている成分や配合の割合で粘度に違いがあります。ヒアルロン酸は保湿効果に加えて、カンジダ菌の増殖を抑制することも報告されています。

補助成分

甘味料や香料が添加されているほか、抗菌成分を配合した製品もあります。抗菌物質として天然酵素成分であるリゾチーム、ラクトペルオキシダーゼなどを含む製品(オーラルバランス)があります。

院内のセブン-イレブンで販売されている『マウスモイスト』は



- ジェルタイプ * 軟らかく流動性があります。
- 保湿成分ヒアルロン酸Na、ベタイン配合
- 爽快感のあるミント味

▶ 保湿ケアには欠かせないアイテムの保湿剤ですが・・・

頑固に付着した痂皮状の汚物は、保湿剤を浸透させて軟らかくしてから少しずつ除去しますが、乾燥・硬化した保湿剤を除去せずに、口腔ケアのたびに保湿剤を上塗りしてしまうと層がどんどん厚くなり、汚れの除去が困難になるばかりでなく、細菌の繁殖の温床となります。汚れとともに保湿剤も除去されていることを確認してから、再度塗布するようにしましょう。

歯科衛生士 井川直子

お知らせ

第5・6回 院内NST研修会 場所:南館講堂

10月1日(水)・11月5日(水) 17:30~18:30

どの職種でも参加可能です。栄養に興味のある方や、新人職員の皆様ぜひご参加下さい！